

絶滅危惧類 ベンケイソウ科

ミヤママンネングサ

Sedum uniflorum Hook. et Arnott subsp. *japonicum* (Siebold ex Miq.) var. *senanense* (Makino) H. Ohba

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

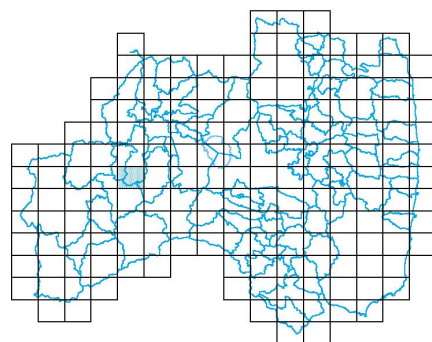
【形態】 メノマンネングサに似ているが、いっそう小型で、高さ3~10cm。茎は地表をはい、無花枝と有花枝を立てる。葉は肉質柱状で、径1~2mm、上端は細くなり鈍端をなし、赤味を帯び、基部の少し内側につく。花期は7~8月。花は径約1mm、黄色で3~多数集散状につける。

【分布】 本州(東北・近畿地方)に分布する。日本特産。

【県内の分布、生育状況】 会津地方の極めて限られた地域に分布し、高地の岩場等にまれに生育している。

【生育に影響を与えている要因】 岩れき地の崩壊、遷移進行、園芸採取

【特記事項】 生育地の環境を保全するとともに、鑑賞のための採取・販売・栽培をしないことが望ましい。



絶滅危惧類 ユキノシタ科

アラシグサ

Boykinia lycoctonifolia (Maxim.) Engl.

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

【形態】 地下茎は細長く、褐色の長毛が生える。ふつう1個の根出葉がある。葉柄は長さ5~20cm、葉身は腎円形で、長さ3~7cm、幅5~14cm、掌状に7~9浅裂または中裂し、裂片はさらに3~5浅裂し、先端は鋭形となる。花期は7~8月。花茎は高さ20~40cmで、短い白色の腺毛を密生する。子房とがく筒が合着し、がく筒には白色の腺毛がある。がく裂片は三角形、黄緑色。花弁は黄緑色でがく片より小さく長卵形で鈍頭。

【分布】 北海道・本州中部以北、東アジアに分布する。

【県内の分布、生育状況】 会津地方の限られた地域に分布し、高地のやや湿った草地にごくまれに生育している。

【生育に影響を与えている要因】 湿地乾燥、遷移進行、園芸採取

【特記事項】 生育地の環境を保全するとともに、鑑賞のための採取・販売・栽培をしないことが望ましい。

